

講習の名称	【選択】暮らしに役立つ工学（情報・エレクトロニクス/機械システム）
講習の概要	現在の IT 社会をハード面から支えている基盤技術は半導体素子（集積回路）と磁気素子（ハードディスク等）である。これらの最近の発展について解説するとともに、日本国内の産業との関連をレビューする。（高橋）再生医療の成立つ背景と現状を説明してから、この領域の重要な技術要素と手法を解説し、特に再生医療の多分野横断の特徴及び工学の役割とアプローチを強調する。加えて本研究室の行っている研究例も紹介する。（馮）
担当講師	高橋 豊（理工学研究科担当准教授） 馮 忠剛（理工学研究科担当准教授）
講習開設日	令和 2 年 11 月 14 日（土）
時間数	8:50～16:10（6 時間）
開催地	山形県米沢市
会場・教室	山形大学米沢キャンパス 工学部 4 号館 116 教室
対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校教諭、中学校教諭（理科）、高等学校教諭（理科・工業）
受講予定人数	9 人
受講者への連絡事項 （持ち物等）	ノート、筆記用具、英語辞書
評価基準	・全時間出席していること ・筆記試験等の得点が 60 点以上であること
評価の観点	講習内容を理解し、特に筆記試験で問いかけている問題に対して、考察を加えて説明できるか否か。
その他特記事項	